

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 緑の保全・育成
-----	-----------

施策主管課	緑のまちづくり課	総合計画記載頁	127ページ
-------	----------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	14 良好な水と緑の環境を創出する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。
------	--------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

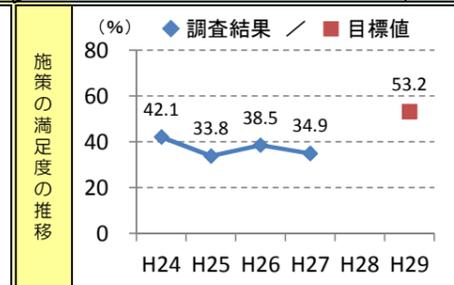
2 施策の取組状況

施策目標	市民・事業者の主体的な活動により、都市の緑化や樹林地の保全が図られています。
------	--

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	緑化ボランティア登録者数	単年度目標値	190	205	220	235	250			265	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	42.1%	33.8%	38.5%		34.9%	
現状値			174	実績値	191	209	226	247	目標値(H29)	53.2%	前年度からの増減				-	-8.3%	4.7%	-3.6%			
目標値(H29)		265	単年度の達成度	100.5%	102.0%	102.7%	105.1%		③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B											
指標2		単年度目標値																			
指標2	現状値	実績値							【参考】中核市等との水準比較	中核市平均											
		目標値(H29)																			
	単年度目標値	実績値									中核市での本市の順位										
		目標値(H29)																			
指標2	現状値	実績値							中核市平均												
		目標値(H29)																			
	単年度目標値	実績値								中核市での本市の順位											
		目標値(H29)																			

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・地球温暖化の進行や生物多様性の喪失危機にあるなど、樹林地や農地等の「緑」に関連した問題が深刻化している。 ・本市の市街地の「緑」は宅地開発などにより減少傾向が続いており、緑豊かな都市環境を維持・形成していくためには、行政による取組以外に、市民や団体、企業なども含めた包括的な取組が必要となっている。	市民満足度	・緑化ボランティアによる様々な活動をはじめ、中心市街地でのストリート緑化事業の実施、公益財団法人グリーントラストのみやによる樹林地の保全活動など、緑の保全や育成に係る継続した取組の実施により、市民が緑にふれあう機会を促進していることなどから、市民満足度は前年度と同水準で推移している。	総合評価	83点
施策指標	・市主催の養成講座を修了した緑化ボランティアによる地域や公園などにおいて展開されている様々な緑化活動や、広報紙、ホームページを活用した普及啓発事業、さらに中心市街地で開催される各種イベント時でのPRなどにより、単年度目標を上回る登録者数を確保することができた。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H27事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	里山・樹林地の保全	○★	・都市緑地の保全・活用	・管理面積:約24.5ha 戸祭山緑地:約10.6ha 鶴田沼緑地:約13.1ha 上戸祭緑地:約0.8ha	・公有地化した緑地の適切な維持管理	計画どおり	18,196	H元		都市緑地として公有地化したままとりのある緑を良好な樹林地として保全していくため、目指していく植生等の状態や管理上の計画について、市民ボランティアと相互理解しながら、適切な管理を行っていく。
2	里山・樹林地の整備	○★	・都市緑地の保全・活用	・都市緑地:約56.7ha 戸祭山緑地:約25.8ha 鶴田沼緑地:約30.9ha	・緑地整備 ・先行取得用地の買戻し ・用地新規取得	計画どおり	264,323	H元		都市緑地としてままとりのある緑を市民が身近に親しめる緑として活用していくよう、計画的な用地取得を進めていくとともに、園路や案内板、駐車場などの整備を円滑に行っていく。
3	長岡公園の整備事業	○★	・都市緑地の保全・活用	・長岡最終処分場の植栽整備箇所:約1ha ・「もったいないの森 長岡」植樹祭の参加者	・市民参加によるイベント形式の植樹祭実施	計画どおり	2,324	H20	先駆的	長岡最終処分場(第2埋立地)を自然豊かな森として回復し、緑化に対する市民意識の高揚を図っていくため、「もったいないの森 長岡」植樹祭を開催していくとともに、隣接する樹林地と一体的に活用できるよう整備に向けた検討を進めていく。
4	とちぎの元気な森づくり市町村交付事業		・都市緑地の保全・活用 ・民有地の緑地保全	・市内で森づくり等を目的に活動する法人(H27:(公財)グリーントラストうつのみや)	・市民を対象に実施する、緑地保全・緑化普及啓発を目的とした森づくり活動事業に対する助成	計画どおり	500	H20		豊かな樹林地とふれあう機会を増進していくため、栃木県が所管する「元気な森づくり推進市町村交付金事業」を活用し、樹林地に係るガイドブックやポスターを作成するなど、継続した市民への啓発活動を行っていく。
5	都市緑化の推進	★	・民有地の緑化推進 ・公共施設の緑化推進	・市民、事業者 ・民有地、公有地、公共公益施設	・市民・事業者・行政の協働による花いっぱいのみちづくりの促進	計画どおり	6,571	S60		緑化に対する市民意識の高揚と市民主体による効果的な緑化を促進していくため、地域や公共施設への花苗の提供や、出生時及び住宅新築時における記念樹の配布等を行っていく。
6	中心市街地緑化事業	○★	・中心市街地の緑化推進	・市民、事業者 ・民有地、公有地、公共公益施設	・中心市街地における、市民・事業者・行政の協働による花いっぱいのみちづくりの促進	計画どおり	831	H18		中心市街地の魅力づくりや賑わいづくりとなる緑化活動を推進していくため、ストリート緑化事業やJR宇都宮駅周辺の緑化などを参画する市民と連携しながら取り組んでいくとともに、より魅力的な緑化活動となるよう、内容の拡充を図っていく。
7	宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会補助金		・民有地の緑化推進 ・花と緑に係る人づくりの推進	・宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会	・花と緑の普及啓発を目的とする団体への活動費補助	計画どおり	4,000	H13		市民主体による緑化活動を促進していくため、地域や事業所、個人など、賛同する市民が連携し、緑化についての普及・啓発活動等を行う宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会に補助金を交付するとともに、同協議会の活動が促進されるよう支援を行っていく。
8	宇都宮市花と緑のフェスティバルうつのみや交付金		・民有地の緑化推進 ・花と緑に係る人づくりの推進	・宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会	・「花と緑のフェスティバル」を実施するための交付金を交付	計画どおり	2,315	H14		多くの市民に花と緑の大切さについて理解してもらうため、宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会主催の「花と緑のフェスティバル」開催に係る交付金を交付するとともに、まちづくりに関わる他の団体との連携を促進していくなど、より多くの来場者が訪れる催しとなるよう必要な支援を行っていく。
9	(公財)グリーントラストうつのみや運動促進費補助金		・都市緑地の保全・活用 ・民有地の緑地保全	・公益財団法人グリーントラストうつのみや	・緑豊かなまちづくりを目的とする公益財団への活動費補助	計画どおり	5,706	H3		多くの市民が自然の大切さを理解し、緑を保全する活動に参画するよう、良好な樹林地の保全活動等を行う公益財団法人グリーントラストうつのみやに補助金を交付するとともに、戸祭山緑地や鶴田沼緑地の保全や活用について、密接に連携しながら取り組んでいく。
10	緑の相談所の運営		・緑の情報拠点の活用促進	・市民、事業者	・緑化の普及啓発のための緑化相談、緑化講習会、各種展示会の実施	計画どおり	3,112	S56		緑化についての情報発信や緑化に関わる人材を養成していくため、緑化講習会の開催や花と緑についての相談業務などを行うとともに、緑化ボランティアの活動拠点として施設の有効活用を図っていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆里山・樹林地の保全や都市緑化の推進については、ネットワーク型コンパクトシティを進めている中、これまで実施してきた取組を精査し、より効果を高められるよう、事業の優先化や重点化を図っていく必要がある。</p> <p>◆緑の保全や育成に係る普及・啓発については、市民ボランティアの高齢化により、緑を支え、つないでいく人材の確保が難しくなっていることから、市民主体による緑地保全や緑化活動が今後とも促進されていくよう企業や団体からの参画について、積極的に働きかけていく必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆都市緑地など、ままとりのある緑については、計画的な保全・整備を進めていくとともに、都市緑化の推進については、中心市街地の緑化事業など、効果的な事業について拡充させていく。また、多くの市民が緑地保全や緑化活動に参画できるよう、様々な支援を講じていく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆「里山・樹林地の保全」 公有地化したままとりのある緑や保全契約した樹林地を公益財団グリーントラストうつのみやと連携しながら、適切に管理していく。また、市街化区域内に残された樹林地の現況調査を基に相続税の優遇措置のある市民緑地制度について検討するなど今ある樹林地の保全に取り組んでいく。 ◆「里山・樹林地の整備」 戸祭山緑地(斎場跡地)は平成28年度末の供用開始に向けて、計画的な整備を進めていくとともに、樹林地の活用について市民へ周知していく。鶴田沼緑地は、第1期整備の着実な推進に向けて(事業期間、平成33年度まで)、計画的な用地取得を進めていく。 ◆「長岡公園の整備事業」 「もったいないの森 長岡」植樹祭を開催し、緑化に対する市民意識の高揚を図り、また周囲の樹林地との一体的な活用について検討していく。 ◆「中心市街地緑化事業」 現在実施しているまちなかハンギングバスケット大作戦に加え、民有地にある既存植栽帯を活用した花壇の設置等を行っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>